

平成21年度

香芝市一般会計予算の概要

香芝市総務部財政課

予算案の概要

一般会計予算の概要

平成21年度予算は、歳入面では、人口増加に伴う納税義務者数が伸びているにもかかわらず景気後退の影響により市税収入が減少しています。また、地方交付税においては、地域雇用創出等が創設されたものの、本市への交付額は減少の見込みであり、臨時財政対策債を含めた一般財源全体では微増となりました。

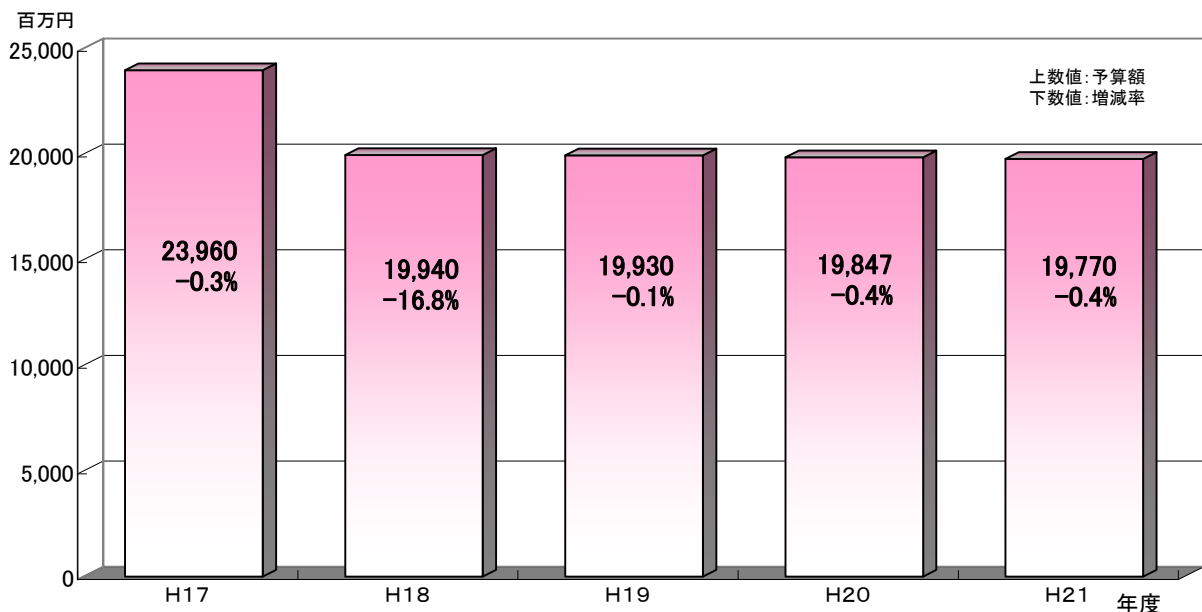
一方、歳出面では、退職手当を含む人件費、市債の償還に伴う公債費、身体障害者福祉費や生活保護費などの扶助費といった義務的経費が増大してきており、行政改革を進めてもなお多額の財源不足が生じるという、極めて厳しい財政運営を強いられることが予想される中での予算編成となりました。

このため、21年度予算編成にあたっては、これまで以上に歳出の抑制と効率化に努めるとともに、自主財源の確保を図るなど歳入・歳出の全てを再検証の上、新たな編成手法として『部局単位の枠配分方式』を導入し、限られた財源を最適に配分するため事務事業の効率的かつ効果的な取捨選択を行うことにより、恒常的な財源不足の解消に努めました。

一般会計の概要

21年度一般会計の予算規模は、197億7,000万円の前年度と比べると1億5,000万円の増（0.8%の増）となっていますが、前年度の当初予算は骨格予算編成のため肉付け補正後の予算額と比較すると7,724万円の減（対前年度比0.4%の減）となります。なお、この中には公的資金補償金免除繰上償還による借換分を含んでいるため、借換分を除いた実質的な比較では3億2,455万円の増（対前年度比1.7%の増）となっています。

【一般会計予算規模の推移】



注：グラフの数値については、当初予算額(H20は6月補正後の予算額)です。

歳入

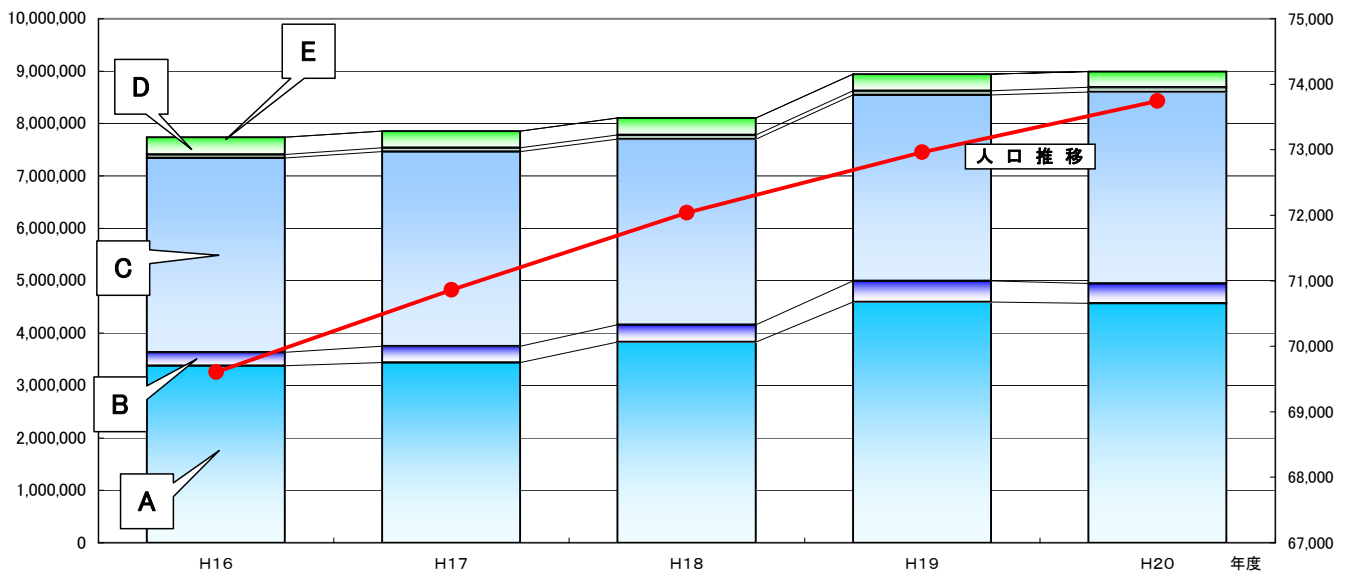
- ① **市税収入**については、前年度予算額と比較して2,351万円の減となる**88億9,726万円**と見込みました。個人市民税で、納税義務者数の増加により2,300万円の増(0.5%増)、法人市民税は、景気後退の影響により7,000万円の減(18.5%減)、固定資産税では、3年に一度の評価替えにより3,029万円の増(0.8%増)になると見込んでおります。

〔市税収入見込額〕

(単位:万・%)

	平成21年度 当初収入見込額 A	平成20年度 当初収入見込額 B	差引 A-B	増減率 (A-B)/B
市 民 税	482,860	487,560	△ 4,700	△ 1.0
個人市民税	452,000	449,700	2,300	0.5
法人市民税	30,860	37,860	△ 7,000	△ 18.5
固 定 資 産 税	368,496	365,467	3,029	0.8
軽 自 動 車 税	9,170	8,850	320	3.6
た ば こ 税	29,200	30,200	△ 1,000	△ 3.3
合 計	889,726	892,077	△ 2,351	△ 0.3

【税目別収入額の推移】



(単位:千円)

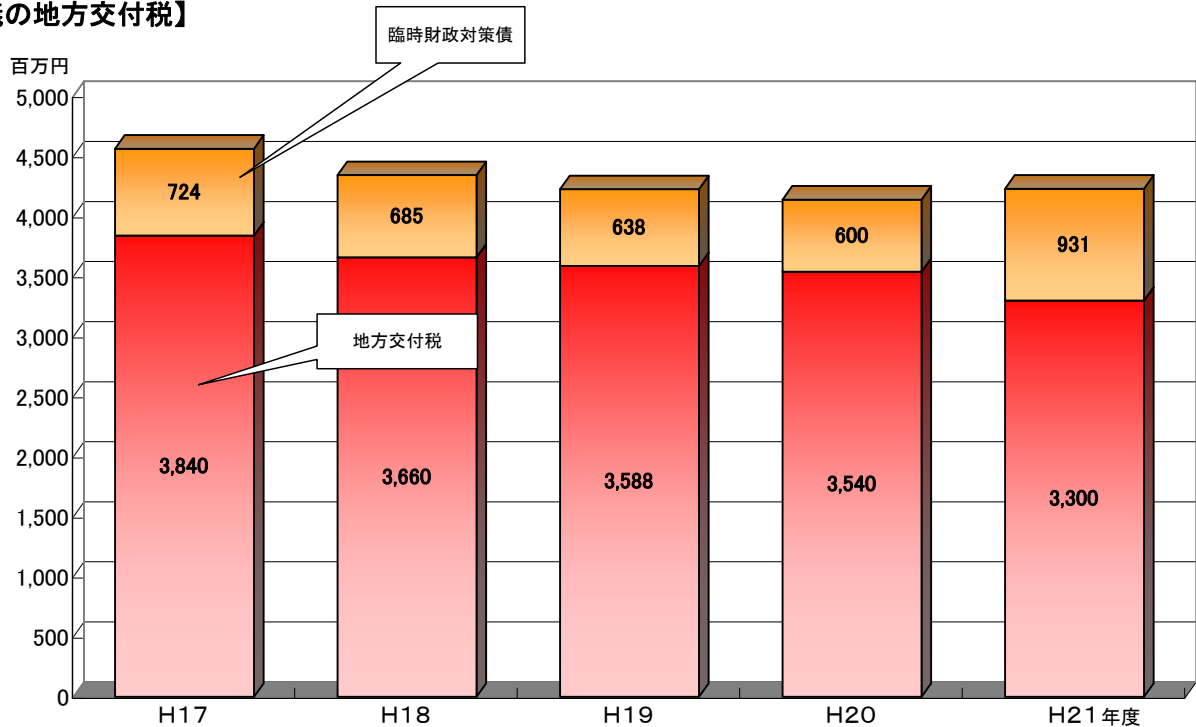
区 分	H17	H18	H19	H20	H21
市 町 村 民 税	3,749,800	4,158,900	4,997,000	4,946,600	4,828,600
うち個人(A)	3,437,800	3,831,000	4,592,000	4,568,000	4,520,000
うち法人(B)	312,000	327,900	405,000	378,600	308,600
固 定 資 産 税 (C)	3,716,498	3,543,365	3,546,090	3,654,675	3,684,961
軽 自 動 車 税 (D)	73,000	80,700	84,200	88,500	91,700
市 町 村 た ば こ 税 (E)	317,300	325,000	313,000	302,000	292,000
市 税 合 計	7,856,598	8,107,965	8,940,290	8,991,775	8,897,261
年 度	H17	H18	H19	H20	H21
人 口	70,861	72,038	72,961	73,745	74,601

※当該年度4月1日現在人口

H21は1月31日現在人口

- ② **地方交付税**については、地方財政計画では、地域雇用創出推進費の創設などにより交付税総額は2.7%の増となるものの、算定基礎となる第一次産業就業者などの比率が低く伸びは見込めないため、**33億円**（対前年度比6.8%減）を計上しています。

【広義の地方交付税】



- ③ **国・県支出金**については、**26億4,686万円**、前年度比3億3,153万円の増（対前年度比14.3%の増）となっています。これは、社会福祉費負担金や生活保護費負担金等による増であり、歳出の増加に伴うものです。

- ④ **市債**については、**21億8,000万円**を計上、前年度比9,570万円の増（4.6%の増）となっていますが、臨時財政対策債が3億3,100万円増加することによるものです。

また、公的資金補償金免除繰上償還に伴う借換債は5%台の利率の政府債が対象であり、1億4,420万円の発行を予定しています。

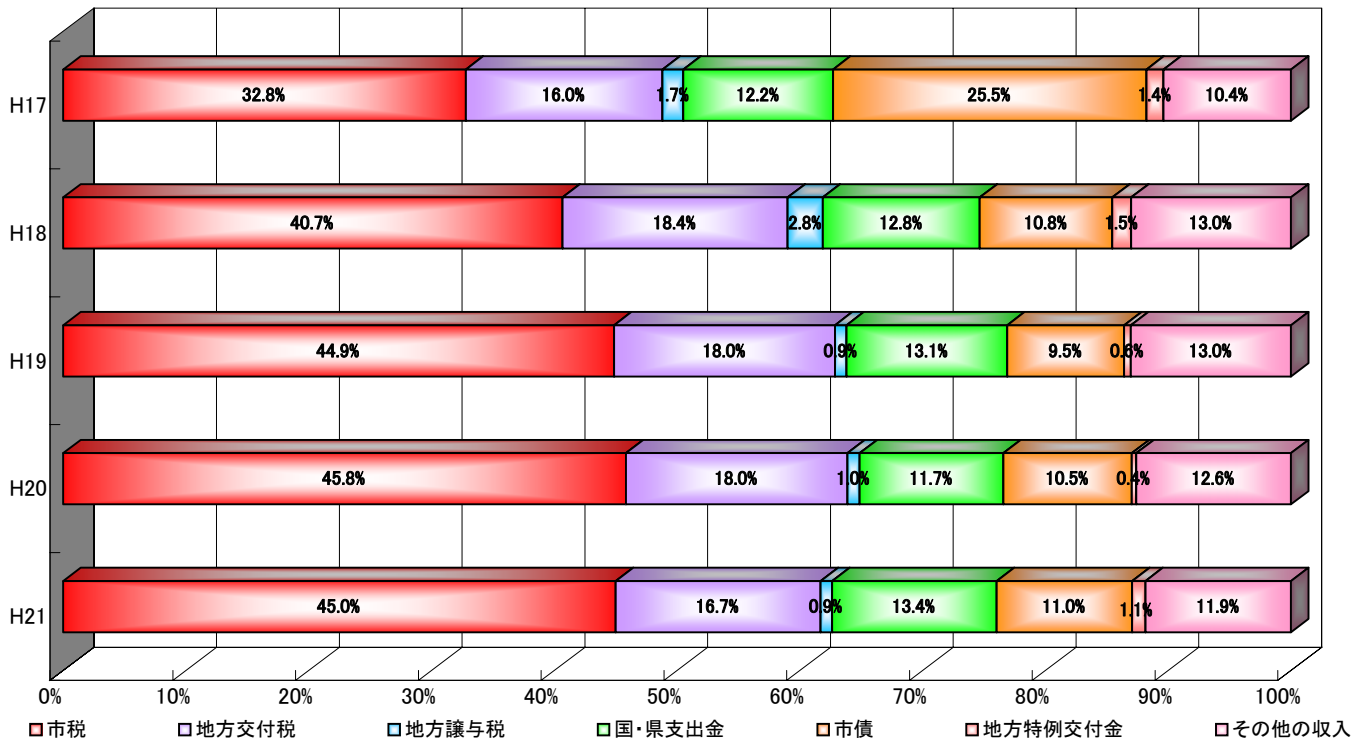
【一般会計歳入の内訳】

(単位:千円:%)

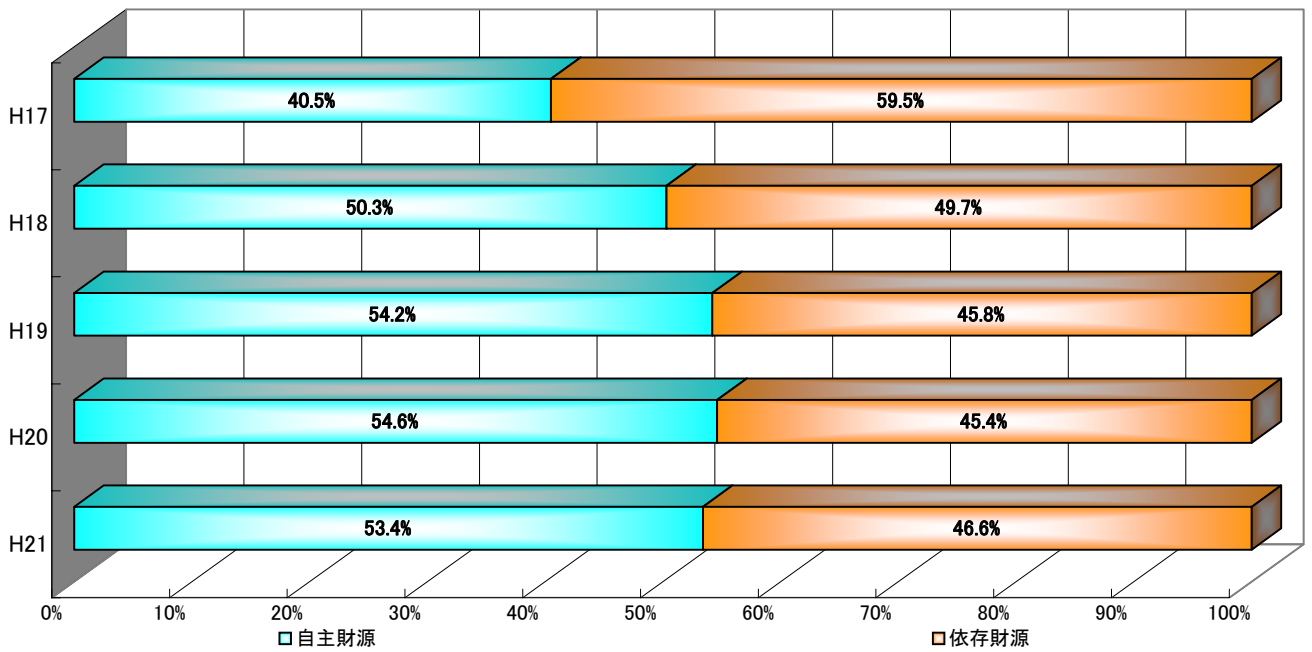
	平成21年度	平成20年度	比較		平成21年度
			増減	増減率(%)	構成比
市 税	8,897,261	8,920,775	△ 23,514	△ 0.3	45.0
地 方 交 付 税	3,300,000	3,540,000	△ 240,000	△ 6.8	16.7
地 方 譲 与 税	186,900	198,500	△ 11,600	△ 5.8	0.9
国・県支出金	2,646,861	2,315,328	331,533	14.3	13.4
市 債	2,180,000	2,084,300	95,700	4.6	11.0
うち臨時財政対策債	931,000	600,000	331,000	55.2	4.7
地方特例交付金	214,800	143,800	71,000	49.4	1.1
その他の収入	2,344,178	2,644,544	△ 300,366	△ 11.4	11.9
合 計	19,770,000	19,847,247	△ 77,247	△ 0.4	100.0

各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

【一般会計歳入構造の推移】



【歳入財源内訳の推移】



歳出

- ① 人件費、扶助費及び公債費の**義務的経費**については、107億7,910万円、前年度比1億2,269万円の増（1.2%の増）を計上しています。
 人件費については、職員の退職手当の増加があるものの議員定数の削減や特別職給与のカットなどにより2.1%の増になっており、扶助費については身体障害者福祉費や生活保護費の増などにより9.3%の増となっています。
- ② 物件費及び維持補修費の**消費的経費**については、小中学校の校外学習事業の予算化により、26億1,174万円、前年度比1億3,064万円の増（5.3%の増）を計上しています。
- ③ **投資的経費**については、限りある財源を有効配分するため「事業の選択と集中」という考え方のもと市単独事業を中心に事業費の抑制に努め、22億5,954万円、前年度比1億4,214万円の減（5.9%の減）を計上しています。

【一般会計予算経費別総括表】

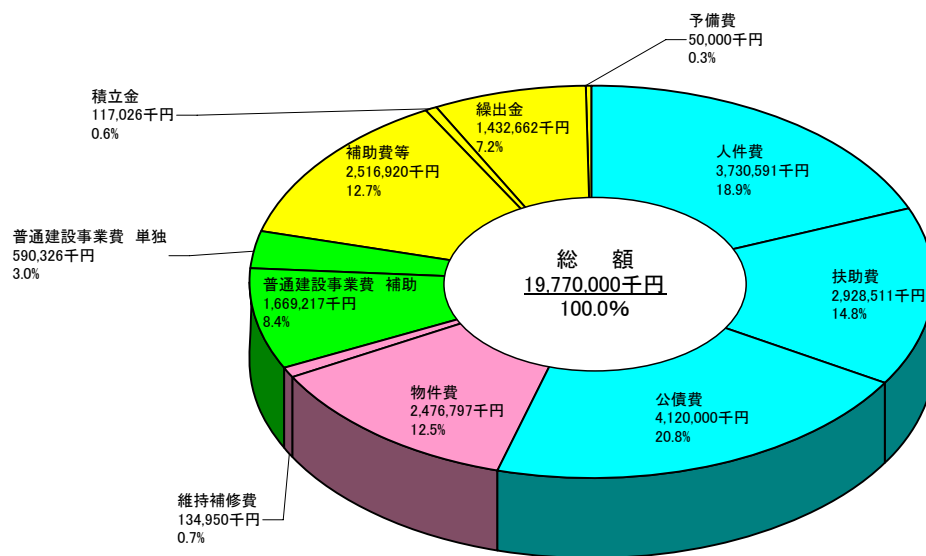
（単位：千円：％）

区 分	H21年度	H20年度	増 減	増減率	H21年構成比
義務的経費 計	10,779,102	10,656,416	122,686	1.2	54.5
人 件 費	3,730,591	3,654,275	76,316	2.1	18.9
扶 助 費	2,928,511	2,680,141	248,370	9.3	14.8
公 債 費	4,120,000	4,322,000	△ 202,000	△ 4.7	20.8
消費的経費 計	2,611,747	2,481,101	130,646	5.3	13.2
物 件 費	2,476,797	2,344,901	131,896	5.6	12.5
維持補修費	134,950	136,200	△ 1,250	△ 0.9	0.7
投資的経費 普通建設事業費	2,259,543	2,401,689	△ 142,146	△ 5.9	11.4
補 助	1,669,217	1,466,680	202,537	13.8	8.4
単 独	590,326	935,009	△ 344,683	△ 36.9	3.0
その他の経費 計	4,119,608	4,308,041	△ 188,433	△ 4.4	20.8
補 助 費 等	2,516,920	2,585,963	△ 69,043	△ 2.7	12.7
投資及び出資金	0	5,280	△ 5,280	△ 100.0	0.0
貸 付 金	3,000	3,000	0	0.0	0.0
積 立 金	117,026	163,228	△ 46,202	△ 28.3	0.6
繰 出 金	1,432,662	1,500,570	△ 67,908	△ 4.5	7.2
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.3
合 計	19,770,000	19,847,247	△ 77,247	△ 0.4	100.0

各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。

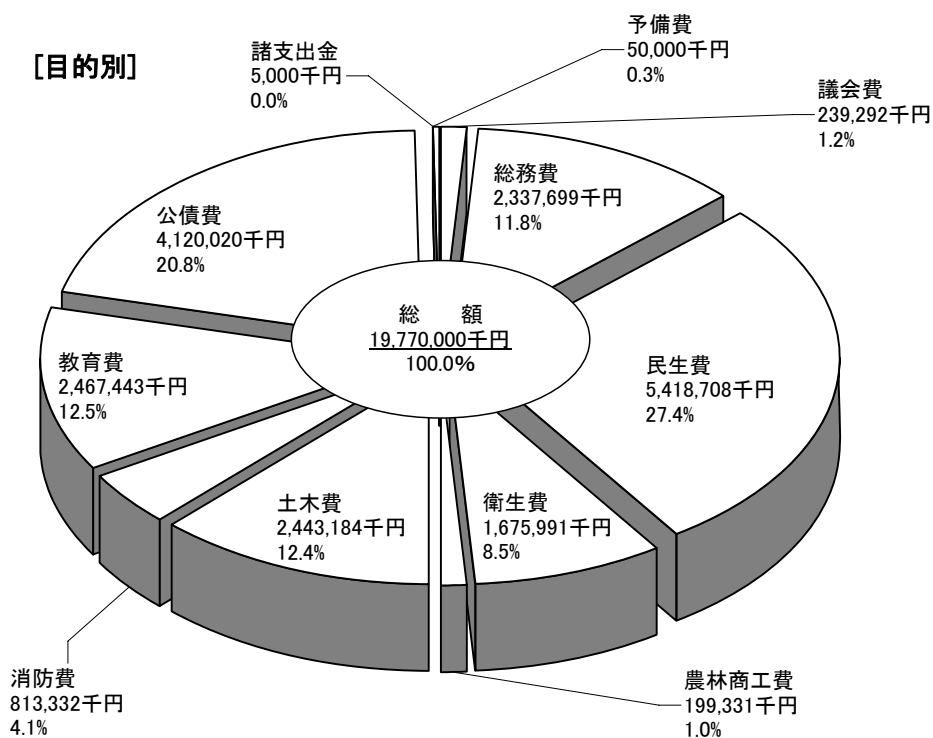
【平成21年度予算歳出構成比】

[性質別]



- 義務的経費(人件費+扶助費+公債費)
- 消費的経費(物件費+維持補修費)
- 投資的経費(普通建設事業費 補助+単独)
- その他の経費(補助費等+出資及び投資金+貸付金+積立金+繰出金+予備費)

[目的別]



【平成21年度一般会計予算を市民一人当たりの予算に置き換えると…】

市民一人当たりの予算

265,010 円

1世帯当たりの予算 **737,521** 円

市の人口 74,601 人

市の世帯 26,806 世帯

(平成21年1月31日現在)

【民生費】

高齢者、児童の福祉などに
72,637 円 27.4 %

【公債費】

借入金返済に
55,228 円 20.8 %

【土木費】

道路、河川の整備などに
32,751 円 12.4 %

【総務費】

文化振興、情報化などに
31,336 円 11.8 %

【教育費】

学校、図書館の運営などに
33,075 円 12.5 %

【衛生費】

ごみ処理、病気予防などに
22,466 円 8.5 %

【消防費】

消防活動や防災のために
10,901 円 4.1 %

【議会費】

市議会を運営するために
3,207 円 1.2 %

【農林商工費】

農業の振興などに
2,672 円 1.0 %

【その他】

諸支出金・予備費
737 円 0.3 %

【もし香芝市が給料収入500万円の家庭だったら…】

収入		支出	
給料 (市税)	500 万円	食費 (人件費)	210 万円
パート収入 (使用料・手数料など)	87 万円	生活費 (物件費・補助費等)	280 万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税など)	394 万円	医療費 (扶助費)	165 万円
貯金の取り崩し (繰入金)	7 万円	自宅の修理代 (維持補修費)	8 万円
借入金 (市債)	123 万円	車・土地の購入費 (普通建設事業費)	127 万円
合計	1,111 万円	子どもへの仕送り (他会計への繰出金など)	80 万円
借入金の残高 (一般会計) ※平成20年度末見込み	2,075 万円	借入金の返済 (公債費)	231 万円
		貯金 (積立金・貸付金など)	10 万円
		合計	1,111 万円